

第 34 回北東アジア地域研究会・国立民族学博物館拠点（月例会）報告

令和 2（2020）年 2 月 27 日に国立民族学博物館内において第 34 回月例会を開催いたしました。北東アジア地域研究拠点・特任助教の辛嶋博善が「出産期におけるヒツジ・ヤギ群の管理」を発表しました。

モンゴルにおける家畜管理の事例としてヒツジ、ヤギを対象に、出産期である春の管理方法について発表しました。通常 1 つの群れで管理されるヒツジ、ヤギを、最大 6 つに細分化する事例を示しました。議論の間では、牧畜文化を軸として群れの細分化の際に用いられる牧柵や遊牧民としての移動性が焦点となりました。

月例会には北東アジア地域研究拠点の館内構成員 3 名、館内研究者 1 名、総研大学院生 3 名が参加しました。

